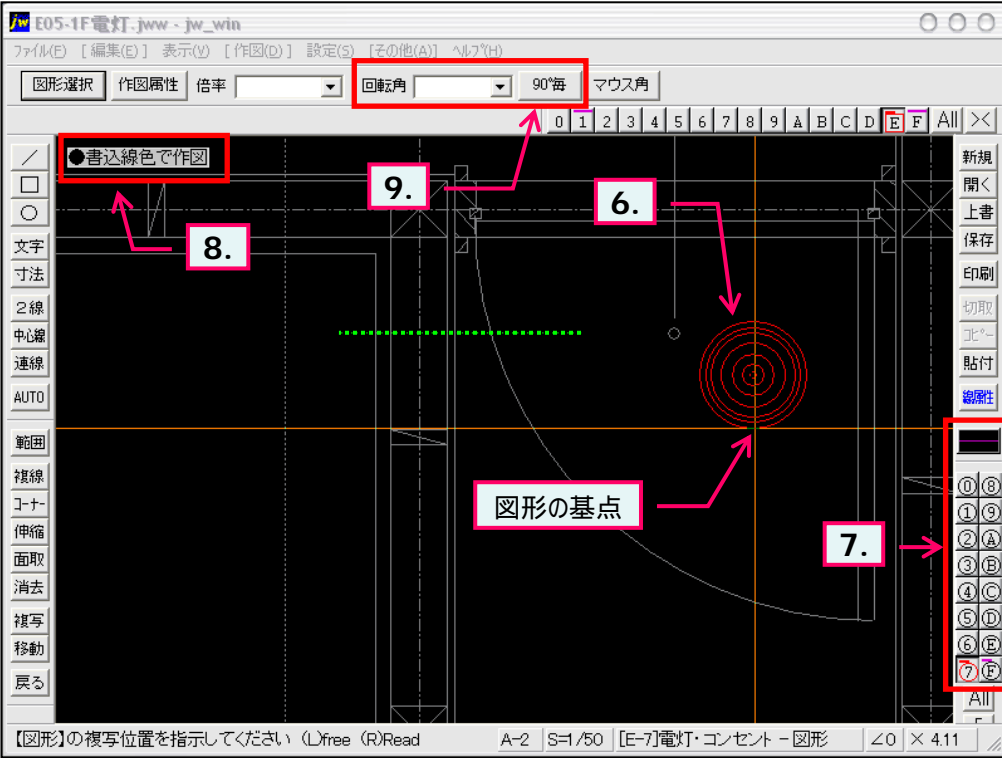


9-2(2). 図形の配置-2

図形(電気設備シンボル)の配置 - 壁面への配置(2)

複線(平行線)を基準点として図形(電灯SWシンボル)を配置します。(2)



6. 5.で選択した図形が仮表示線で表示されています。(マウスポイントの先端が選択した図形の基点にあるのが確認できます。)

この画面はマウスポイントではなくクロスラインカーソル表示ですので縦・横線の交点が図形の基準点にあります。

7. 「図形の配置-1」の「8-3(2)」と重複しますが、書込みレイヤ・線色を確認・設定します。ここでは「レイヤ7」・「線色5」に設定しています。(図形配置の専用レイヤ・線色として使用しています。)

設定方法は3.「基本的な作図操作」を参照。

8. 初期設定では、図形は書込み線色で配置されます。

9. 「6.」の状態(向き)のままでは今回配置する壁面と向きが違いますので「90°毎」のボタンを押して下図「d」の向きへ変更します。

…次項に続きます。

「90°毎」のボタンを押すごとに a b c d aの順に図形の向きが基点を中心に90度ずつ変化します。

ここへ任意の角度を直接入力しても回転できます。(数値は反時計回り)

a (図形選択時)

b (90°)

c (180°)

d (270°)

